

山田政務官による閉会スピーチ
AU委員会・UNICEF共催サイドイベント
「アフリカの若者たちの可能性を解き放て」
2019年8月29日

アグボールAU委員会人的資源科学技術委員，
フォアUNICEF事務局長，
各国・国際機関の代表の皆様，
御列席の皆様，

TICAD7では、150近くのサイドイベントが開催されている中、本会合はイベントそのものが際立って力強いメッセージを発信しています。「アフリカの若者たちの可能性を解き放て!」。自然と力が湧いてくるような表題の下、本日活発な議論が行われたことを喜ばしく思います。また、シェビィAUユース特使による精力的な進行に感謝いたします。

TICAD7のテーマは「アフリカに躍進を!ひと、技術、イノベーションで。(Advancing Africa's Development through People, Technology and Innovation)」でございますが、どれひとつ取ってもアフリカの未来を担う若者の活躍なくして開発の躍進は望めません。アフリカ開発において、若者は成長の牽引役となっていく必要があります。日本政府は、若者が社会の「解決」となるようなアフリカ開発を、AU、国連を始めとする多様なパートナーと共に目指していきます。そのためにも、本日の会合を通じて集約されたコミュニケが示すように、様々な業種の民間セクターの協力が不可欠です。民間セクターの皆様には、独自の強みを生かした革新的アプローチをもって、若者を主体とするアフリカ開発に是非とも御協力をお願いいたします。

最後に、国連とAUとのパートナーシップについて一言申し上げます。AUと国連の戦略的パートナーシップは、この数年間で、開発分野、平和と安定の分野共に、これまでに例を見ない発展を遂げています。AUと国連の共同枠組みに基づき、両機関が、相互関係にあるAUアジェンダ2063と持続可能な開発目標（SDGs）の実施において連携していることを日本政府は高く評価しています。

開発の牽引役としての若者を育てることを目指したAUの「2021年までの100万人イニシアチブ」と、UNICEFの「無限の可能性を秘めた世代イニシアチブ」が連携した本日の会合は、両機関のパートナーシップを更に深化させる取組だったと思います。

官民連携を一層強化させ、AU、国連、国際社会が一体となり、アフリカの若者一人ひとりの可能性を最大限引き出せるよう、今後更に協力していきたいと思います。

御静聴ありがとうございました。